

世界の問題 → 地域の問題



富谷高等学校とは

地域と世界を結びつけて、自ら学び、
貢献できる人材を育む「普通科・3類型選択制」の学校です。

富谷高校は、進取の精神に富み、国際的な視野に立って広く社会の発展と文化の創造に貢献する、個性豊かな人間を育成することを目標としています。平成6年の開校以来、社会や時代の変化に対応しながら、様々な取り組みに挑戦してきました。平成26年にユネスコスクールに加盟承認されたことで、学校全体としてユネスコが掲げる理念に沿った教育を目指すことになりました。

1年生では普通科として基礎基本となる学習を行うのと同時に、すべての生徒に対し、世界と地域の問題を包括的に捉えられるような

教育活動を行い、その上で、2年生以降はそれぞれの進路や、ユネスコスクールが掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の17の課題を参考に、人文・国際・理数の3つの類型からひとつを選んで学ぶ「類型制」に移行します。

さわやかで明るい校風を伝統として維持しつつ、SDGsの諸課題をもとにした課題研究や探究的な活動の幅を広げ、世界(グローバル)を視野に入れつつ、発展著しい富谷市で唯一の高校として、地域(ローカル)とも連携する「グローカル」な人材の育成に励みます。

ますます地域と連携し世界とつながる富谷高校にご期待ください。



ユネスコスクール加盟校として

2014年からユネスコスクールに加盟しています。本校では、ユネスコの基本理念を実現させるために必要なグローバルシチズンシップを身につけ、世界の諸問題から身近な地域問題までを考えていきます。「持続可能な社会」の創り手を育成するため、ESD(持続可能な開発のための教育)を実施していきます。